

ふるさと納税の進捗状況は

町長 寄付件数 57件で 73万円



大木 俊二 議員

問 今年度目標1千万円の進捗状況について

答 寄付件数57件で73万円です。

問 新富町の商品は、平戸市と比較して1万2万3万円と区別されてない等きめ細やかさが足りない。

答 新富町は品数が少ない為に種類別に区分



今後の伸びが心配！
返礼品の一品（リブロース）

問 綾町では返礼品の1位が肉で、2位が果物である。新富町もブランドポーク等企画したら良いと思う。宮崎牛のステーキも1万円の返礼品で企画した方が寄付が伸びると思われる。

答 ブランドポークはミヤチクで取り扱い出来るので今後検討したい。ステーキも1万円で提供できるものについて検討します。

問 県外イベントでのPR用パンフレットは考えているのか。

答 今のところは手作りパンフレットで対応して、品数が増えたら検討したい。航空祭等でも活用したい。

問 富田浜の松くい虫対策で現在、鬼付女地区の農作物等への影響は出てないのか。

答 松以外の樹木や農作物への被害はありま

問 せん。

問 高鍋、佐土原との連携は取れているのか。

答 県において被害対策事業を行っており、防除や伐倒、植栽等が行われている。

問 樹種転換について

答 海岸から50mまで黒松と山桃の混植、50m以上ではウバメガシ、タブノキ、クスノキ、ナワシログミの混植が計画されています。

戦争法案の評価は

町長 国民の理解が進むよう説明を



吉田 貴行 議員

問 戦争法案は国会で審議すればするほど政府がまともな答弁が出来なくなっているが、評価を伺いたい。

答 国民の理解が進む

よう丁寧な説明が必要と考えている。

問 福島原発事故原因の究明も行われず、民意にそむく川内原発の再稼働は絶対許せないと考えてるが、町長の評価は。

答 地域住民の安心・安全を守る立場として苦渋の決断だと思う。



新田原基地

問 新田原基地の航空隊再編について、事実関係と町長の認識は

答 防衛省の概算要求では、飛行教導隊が小松基地へ、三〇一飛行隊（F4戦闘機）が百里基地へ移駐し、百里基地から三〇五飛行隊（F15戦闘機）が移駐してくるとの発表がありました。

問 防音の空調機の取替の現状と改善の努力について

答 この間、努力してきたが、希望届を提出してから工事まで一年

ちよつとかかっていますので、今後も町民の皆さんに不便を感じさせないよう努力していきます。

問 来年度の国保税の引き下げについて。

答 様々な事項が不明な現時点での回答は控えさせていただきます。

問 職員の健康管理等の配慮はどうなっているのか。

答 毎年の健康診断の実施。町の衛生管理者による保健指導を行っています。

スポーツ振興で交流人口の拡大を

町長

町のスポーツ施設を活かして交流を図る



阿萬 誠郎 議員

〔問〕「スポーツ振興」の果たす役割は、地域社会の再生、経済の活力創造にも期待が高まっています。

スポーツを通じた交流人口の拡大を図る今後の取組を伺います。

〔答〕三納代の多目的広場が来年度供用開始さ



スポーツ交流で賑わう西体育館

れ、富田浜漕艇場に宿泊施設を備えた漕艇庫を建設中です。これらを拠点に各種スポーツ団体合宿を推進し、スポーツ交流を図ってまいります。

〔問〕今後のスポーツ推進体制の中で、交流人口の促進にあたって「活かすべき強みと課題」を伺います。

〔答〕地区集会所が活用できることであります。課題としては、スポー

ツ運営とニーズを満たす宿泊施設の不足であります。

〔問〕スポーツ振興において新田地区の地域間交流の基盤は西体育館であり、一番の「集客装置」です。

テニスコートでは「スポーツ少年団等」の大会も盛んに開催されており、まずは、スポーツを軸に地域の場所づくりを考えてもらいたい。

〔答〕地域の理解を前提に可能性はあるものは、しっかりと話し合い方

向性を出していきます。

〔問〕猿ヶ瀬川改修の早期整備に向けた取り組みの現状と今後の対応策について伺います。

〔答〕現在、県において、防衛省補助事業「東大谷地区排水対策」として全体計画調査を実施しているところです。

町づくり基本構想は

町長

事業計画の素案作成中



吉田 憲市 議員

〔問〕茶産業の現状と今後の対応について。

〔答〕新富町の茶については平成26年末18戸で91・4 haで栽培されて

います。宮崎県の荒茶の販売単価が年々下がっており厳しい現状にあります。今後は、経営コストの削減はもとより良質茶の生産に努め経営安定を図り、関係機関一丸となり宮崎茶の販売拡大や海外輸出等について検討し



産地賞を受賞し発展が期待される茶産業

ていかなければなりません。また、昨年の全国茶品評会における産地賞の受賞や2年連続の農林水産大臣賞の受賞は本町が安心安全な良質茶の産地であることを宣伝する好機だと考えています。

〔問〕新しい町づくり基本構想について。

〔答〕本案件については、防衛庁の基地周辺活性化を目的に実施される補助事業の活用により実施されるものであり、現在は諸事業計画の素

案作成中です。今後新富町のあるべき姿、進むべき方向について多岐にわたり検討しているところです。予算事業計画について、公表できる段階ではない。今後、検討委員会を中心に新富町まちづくり構想について、有識者・町民の意見を取り入れながら進めていく考えです。町内全域の資源を発掘し賑わいのある町づくりに万全を期していく考えです。

指定難病の拡大は

町長
56疾患から306疾患に拡大



倉永 豪修 議員

問 臓器移植提供の意思表示について。
答 健康保険法規則の一部改正で、新富町でも国民健康保険証の裏面に臓器提供の意思表示欄を設けています。

問 インフルエンザ予防接種改正の概要について。
答 健康保険法規則の一部改正で、新富町でも国民健康保険証の裏面に臓器提供の意思表示欄を設けています。



リーフレットの活用を！

成について。

答 保険診療の自己負担が3割から2割になります。原因が不明で治療が確立していない難病について、特定疾病医療受給者証の交付を行い医療費及び介護給付費の軽減を図っています。

問 新富町の自殺予防対策について。
答 自殺の危険性の高い年代層に対して、リーフレットや心の相

談表の配布・精神疾患の正しい知識や対処法の啓発・希望される方には個別に相談に応じています。

問 介護予防の見直しについて。
答 全国一律の予防給付費を市町村に移行するもので、既存の介護事業に加えNPO・民間企業・住民ボランティア等のサービスの提供が可能になります。

中学校社会科教科書の採択は

教育長

多くの関係者で採択



丹 邦敏 議員

問 中学校社会科教科書の改正において内容の改善はされているのか。また、採択について伺う。

答 改正の目的に沿って改善されていて、町の採択にあたっては質の高い教科書を多くの関係者で採択している。

問 一ツ瀬川のシジミアユの生息状況について。
答 シジミは平成18年より減少し平成24年以後はほとんど漁獲量はなく、アユは平成22年より激減している。

問 新田西地区の整備のための仮同意の意味は。
答 仮同意は整備をするかどうかの意思決定で、本同意においても一〇〇%の取得がなければ採択されないの整備することはできない。又、仮同意取得は地域の委員会で作業がされている。仮同意でも一〇〇%の取得がされないといけないとされている。



濁水の早期解決が望まれる一ツ瀬川

行政調査

循環型まちづくり・駅前周辺活性化 ・空家利活用

総務産業常任委員会
6名は、7月15日、
17日、町政における先
進地の情報収集及び、
本町の将来の発展を
テーマに本年度の行政
調査を行いました。

（概要・考察）

■「オガール紫波(株)」
岩手県紫波郡紫波町
人口3万2千人

新しく豊かで魅力的な持続的に発展する町の活性化事業計画を徹底的に行いました。



利府町における調査

品の販売やカフェの経営を行う民間事業者がサービスを展開し、その収益が施設全体の管理費や税収へとつながる構造になっています。同様の構造で他の自治体や民間事業者が取り組む場合、「役所前」公共施設の複合こそが地方にとっては最大の集客装置に思えます。

（概要・考察）
中心市街地の自ら事業を実施する意思（有志）を持った8名のメンバーにより、「利府駅前周辺地区まちづくり組織設立準備会」の設立。

※TMOの実施すべき事業内容や設立に向けた検討・協議が重ねられており、これを母体

新たな公共施設建設は、自治体の財政収支に見合った継続できる維持管理可能な規模にする必要があります。

同じ目的意識をもった出資者を募り、事業計画策定と平行して会社の設立準備が進められていました。

■「(株)まちづくり利府」
宮城県宮城郡利府町
人口3万6千人

運営テーマ・目指すものは、
①官と民のパートナーシップを確立する。
②固有の自然・歴史・文化に根差した魅力的で、個性的なまち環境を確立。
③将来に渡る持続可能な「子どもから高齢者までの生活環境基盤」を確立。
④競争力のある地域経済環境を確立することであり、新たな空家利活用を抑制し、空家を定住促進に活用するため「空き家バンク」の充実を図ると共に空家、空き地の適正な管理と活用の方策にかかる「大江町空家等対策計画」の策定を進め、「県空家対策連絡協議会」と連携しながら総合的な空家対策が推進されています。

■山形県西村山郡大江町役場
人口8千5百人

空家家等の適正管理条例制定後の取組み、定住促進の地域活性化策への取組について、調査を行いました。

（概要・考察）
近年、単独世帯の増加、人口減少に伴う少子高齢化が加速。これに伴い空家家の増加、併せて老朽化した空家の倒壊の危険度が高まり、問い合わせも増えてきた。一方では、町外からの特に若い世代の移住希望者（新規就農）が増加傾向、このことから、新たな空家の発生を抑制し、空家を定住促進に活用するため「空き家バンク」の充実を図ると共に空家、空き地の適正な管理と活用の方策にかかる「大江町空家等対策計画」の策定を進め、「県空家対策連絡協議会」と連携しながら総合的な空家対策が推進されています。

○空家・空き地情報提供制度
○空家登録促進事業費補助金
○空家利用促進奨励金
○空家利活用支援事業補助金
○大学連携によるまちづくり推進事業であります。

品品の販売やカフェの経営を行う民間事業者がサービスを展開し、その収益が施設全体の管理費や税収へとつながる構造になっています。同様の構造で他の自治体や民間事業者が取り組む場合、「役所前」公共施設の複合こそが地方にとっては最大の集客装置に思えます。

（概要・考察）
中心市街地の自ら事業を実施する意思（有志）を持った8名のメンバーにより、「利府駅前周辺地区まちづくり組織設立準備会」の設立。

（概要・考察）
近年、単独世帯の増加、人口減少に伴う少子高齢化が加速。これに伴い空家家の増加、併せて老朽化した空家の倒壊の危険度が高まり、問い合わせも増えてきた。一方では、町外からの特に若い世代の移住希望者（新規就農）が増加傾向、このことから、新たな空家の発生を抑制し、空家を定住促進に活用するため「空き家バンク」の充実を図ると共に空家、空き地の適正な管理と活用の方策にかかる「大江町空家等対策計画」の策定を進め、「県空家対策連絡協議会」と連携しながら総合的な空家対策が推進されています。

○空家・空き地情報提供制度
○空家登録促進事業費補助金
○空家利用促進奨励金
○空家利活用支援事業補助金
○大学連携によるまちづくり推進事業であります。

※TMO・・・商業地の活性化（タウンマネジメント）を行う機関の略称。

基地対策特別委員会 要望活動報告

本年度防衛省要望は、基地特委員全員で行い、内容については次の通りです。

総評 今後の最も重要な留意点は、本年度末予想される告示見直しの為の専門家による報告内容と来年度で時限立法切れとなる米軍再編交付金に対する対応です。又8月末に突然掲載と説明を受けた来

年度第2・3・4半期に計画された部隊の編成で、いわゆる態様変更に因る調整交付金、税収減への懸念への対応にあります。

より昨年度から制度の見直しのないまま告示後住宅の防音工事は、本年度も同額の予算を計上願ひ執行されます。また新たに議会の要望に真摯に応えるとして、地域の産業拡大につながると思われる鮮度保持施設等への支援協力等々、一例を上げた具

訪問先と要望項目

一、防衛省地方協力局
六項目の重点要望
とし町勢拡大へ支援を
他1件

一、九州防衛局
3年毎に見直されている基地周辺対策経費確保への理解を求めました。
他2件

一、熊本防衛支局
○品確法、ダンピング防止法にのっとり適切な入札を
○総合評価方式と地域要件の特段の改善
○町内企業育成を主眼



新たな まちづくりに向かって!?

一、空幕基地対策室

○騒音の軽減

○地上騒音対策

○隊員の町内移住対策

一、総務省自治税務局

○基地交付金の所要額確保

○対象資産の範囲拡大と適正価格の設定

以上、昨年度に続き本年度も告示後住宅防音工事予算の確保に加えて、地域の産業拡大につながると思われる新たな提案を引き出しまた、老朽化による外壁の一部落下に懸念し

他1件

現在一年に一度の要望活動ですが、来年度は態様変更や新たな告示に向って複数回の訪問活動を執行部と共に実施することの必要性を重ねて申し添え報告と致します。



12月に行った騒音度調査
待ったなし騒音対策!

カ・メ・ラ・探・訪



一丁田神社



柿



意気投合した組体操



彼岸花

花言葉は
「悲しき思い出」
「あきらめ」
「情熱」
「独立」



地区民一丸で盛り上げる敬老会



秋の大祭での神楽奉納

議会と語る2015

町民の皆様には、日ごろから議会に対しご理解を賜り、心から感謝しております。さて、今般住民の皆様とまちづくりについて意見交換できる場を計画致しました。

富田・新田・上新田それぞれの地区単位で会場を設け、皆様のご意見などをお聞きし、皆様の声を町政に反映して参りたいと思います。どうぞお気軽に参加していただき、私たちの町の将来について語り合いましょう。

▼日時

●11月12日(木) 19時～

新田地区

(新田公民館)

上新田地区

(上新田公民館)

●11月13日(金) 19時～

富田地区

(中央公民館)

町民の声

議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

商品券の第2弾、今回は販売初日が月曜日な上にその日に完売。今回は配慮あつて日曜日、それに混雑予想して売り場まで変更されている。今回も即日完売だろう。こうしたことは現在の町民の暮らし向きの厳しさと表裏にあると見ていい。

さて、現行の販売方法は早い者勝ちの荒っぽいルール、しかしルール厳守は当然のこと、先取行為は以ての外。長い行列に加わり直前で完売告げられた人の無念さに思いを至すべきだろう。

新田地区

議会広報特別委員会

委員長 永友 正章
副委員長 高野 賢治
委員 吉田 貴行
阿萬 誠郎
吉田 憲市
大木 俊二

〃 〃 〃

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139